



ネコはどうして動くものがすきな^{うご}の

えもの^{えもの} わんしゅう^{わんしゅう} 獲物をとる練習

ネコはもともとはネズミや小鳥などを捕らえて食べて生きている動物です。ネズミや小鳥はすばやくて簡単には捕らえられないことは知っていますね。ですからネコはすごい運動神経の持ち主なのです。でも、これは小さいときからの練習のおかげなのです。子ねこのときから何度も何度も練習して、やっと獲物をとることができるようになります。この練習が動くものを追う行動です。

おやこ^{おやこ} わんしゅう^{わんしゅう} 親も子どもに練習させる

ネコ科の野生動物では、半殺しにした獲物を子どもの前で放し、狩りの練習をさせることはよく見られます。

ネコの親が子どものネコに獲物を取る練習をさせることは今ではもう見ることができませんが、ネズミをとって食べていた昔のネコは、やはり子ネコに練習をさせていました。親は、まだ死んでいないネズミを小ネコの前で放し、子ネコに追わせるということをしました。
(監修・今泉 忠明)

